



札幌YEGの会員

## 7年前に発足した 札幌YEG

——札幌商工会議所青年部（以下、札幌YEG）とはどのような組織なのでしょうか。

**牧野** まずYEGとは、商工会議所の若手経営者から成る組織で「Young Entrepreneur Group」（若き経営

者集団）」の略称です。その名の通り、若手経営者や後継者の

グループとして異業種交流と相互研さんの場をつくり、さまざまな活動を通じて、まちの発展に寄

与することが目的で作られました。

全国には418のYEGが存在し、会員の総数は約3万2

# ビヨンド・コロナの 札幌に活力を!

000人を超えています。

札幌YEG

は親会である札幌商工会議所の創立110年記念として2016年

4月に発足しました。

——同じような組織とし

て青年会議所（JC）があります。違いはどこにありますか。

**牧野** まず所属できる年齢に違いがあります。JCに所属できるのは40歳まで。一方、YEGは50歳が上限です。

また、JCは自己成長に重きを置いて活動していますが、YEGは商工会議所の内部組織ですから、会員同士がビジネスのつながりを持ちながら地域

経済の発展を目的としている団体です。

札幌YEGの歴々の会長から言われているのが「札幌商工会議所で活躍するまでの修業期間である」ということ。親会の指針、方針をしっかりと理解しながら、それに沿った活動をYEGで展開していく。どんどんチャレンジできる組織になっていきたいと思っています。

# 札幌商工会議所 青年部 牧野克彦 会長

札幌商工会議所の内部組織である札幌商工会議所青年部の新会長にアイビック食品社長の牧野克彦氏が就いた。コロナ禍からの脱却を図る札幌経済に活力を与えるような活動の展開を誓った。



ます。

## 「ランタンナイト」を一大イベントに

——札幌YEGでは具体的にどのような活動をされているのでしょうか。

**牧野** 今年度のテーマは「飛躍」とし、新型コロナウイルス感染拡大で停滞していた活動を本格的に再開する年として位置づけています。われわれの活動は、会員相互の交流や関係性を強化するための「対内活動」と、札幌市や地域に貢献するために動く「対外活動」の大きく2つに分けられます。

今年度、各メンバーは「総務」「渉外」「研修」「事業」「交流」の5つの委員会にそれぞれ所属。各委員会で定めたミッション達成に向けて1年間活動を展開していきます。主な対内活動として、外

昨年から始まった「札幌ランタンナイト」



部講師を招いた研修事業や、お互いの企業のことを知り、共通の課題に向けて取り組むグループワークなどを行っています。また、対外活動では市内中心部を流れる創成川を舞台にLEDライトが入った風船を浮かべて新たなまちのにぎわいの創造を目指した「創成川キャンドルストリーム」を16年から3年間実施してきました。しかし、新型コロナウイルスの流行によって中止を余儀なくされてしまいました。

それでも昨年から新たな形で、場所を中島公園に移して夜空にランタンを飛ばす「札幌ランタンナイト」を企画。非常に多くの方にご来場いただくなど、ありがたいことにとっても反響が大きかった。

このイベントを通じてわれわれや札幌市民のみならずも中島公園の素晴らしさを再認識できたのではないのでしょうか。今年もブラッシュアップする形で9月16日に開催予定です。北海道を舞台にクリエイティブな発想や技術によって次の社会・未来を創ろうと多様な事業を展開しているNomapsとタイアップします。Nomapsは同時多発的に人のにぎわいを生むイベントを計画していて、それに協業という形でいろいろな団体と組んで企画を展

開いています。実行委員を務める「大人」の五十嵐慎一郎社長は同年代の仲間。日頃から情報共有を図っており、「せっかくだから一緒にやろう」ということになりました。

そして同日は、「川見」の神代晃嗣代表が中心になって幌平橋で「札幌川見」も開催される予定です。

川見が幌平橋、われわれは中島公園、そしてNomapsがススキノ周辺で各自企画を展開するので、みなさんと協力しながら札幌を盛り上げたい。これがきっかけとなり、ゆくゆくは札幌を代表する大きなイベントに成長させていけたらと思っています。

——今年度は「事業」「総務」「渉外」「研修」「交流」の5つの委員会に分かれて活動されるそうですが、それぞれの委員会の役割を教えてください。

**牧野** 先ほどお話ししたラ

ンタンナイトは札幌YEGの柱となる事業で、事業委員会が担当します。研修委員会では、DX・スタートアップ・SNSなどをキーワードに若手のわれわれが得意な分野の学びをアップデートしていきます。交流委員会では約200人となった会員相互の理解と会員同士で新たなビジネスを創造していく機会を創出する仕掛け作りを担ってもらいます。渉外委員会は、他の青年経済団体との連携促進やYEGの全道、全国大会へ参加する際の準備や現地での活動を支援してもらいます。そして総務委員会は総会の運営構築や対内外への情報発信をしてもらい、当YEGの活動の礎を作っています。

——親会は冬季オリンピック・パラリンピックの札幌招致をバックアップしていますが、YEGではどのような活動を行っています

か。

**牧野** オリパラ招致も事業委員会の役割です。夏季はランタンナイトを実施しますが、来年2月にはオリパラに絡めた催しを計画中です。現時点では開催年どころか招致するかどうかさえ不透明になっていますが、フレキシブルに動けるよう準備したい。

賛否ありますが、オリパラの開催趣旨はスポーツを通じた平和の祭典で子どもたちが夢や希望を抱くためのもの。賛成の機運醸成のためにはさまざまな問題をクリアしながら、国レベルで新たな仕組み作りや環境変化が必要になってくると思います。

## ビジネスに直結するメリットを享受

——札幌YEGに入会したらどのようなメリットがありますか。



**牧野** 親会が札幌商工会議所ですから、大前提としてそれぞれの企業間で商売につながらなければ意味がありません。同世代の経営者とネットワークを作りながら「どんどんビジネスしてください」と常々言っています。実際に多くの企業同士で新たなビジネスを生み出しています。

自社の経営が軌道に乗っていないければいけません。どの場合、打ち合わせに出席しても何かしらプラスになるものを持ち帰ることができ、会社の発展につながるような情報を得られたり、さまざまな人脈も構築できます。

——敷居が高いイメージがあるのですが、入会の条件は。

**牧野** 札幌YEGは親会への入会も必須なのですが、年会費は3万円と非常にリーズナブルで入会のハードルはとても低いです。また、歴史ある札幌商工会議所の若手組織ということでも安心感もあるはずだと思います。

合わせて地域貢献をしながら札幌経済を盛り上げていきましょう。

## 札幌の若手経営者の登竜門に

——最後に今年度の会長としての意気込みをお願いします。

**牧野** 札幌商工会議所は会員企業数が2万社あり、政令指定都市では東京、大阪に次いで3番目の規模となります。そういった中で札幌YEGができたのは7年前。

最近ではありがたいことにさまざまな方から「札幌YEGは活躍しているね」とか「札幌YEGさんにお話ししたいことがあるのですが」とお声掛けいただくことも多くなりました。ですが、秘めたポテンシャルはまだまだこんなものではないと思っています。今年中には会員数を250社に

増やし、できる活動の幅をもっと広げたいと思っています。

やっとならコロナ禍が明けて経済は活発化する一方、かねてより危惧されていた人口減少やデジタル化などの問題と、この3年間に生じた新たな問題や新技術が入り乱れた新時代が幕開けすると思っています。それに対応するためスピード感を持って即断即決で進んでいかないといけない。失った3年間を取り戻すだけではなく、さらに発展するため、会員全員が一緒に成長できる1年にしたいですね。

そして発足10周年に向けて当会が対内外に影響力と存在感のある団体になっていきたい。札幌における経営者の登竜門のような立ち位置になっていくことが目標です。

——本日はありがとうございました。

(ききて・佐藤)